

「食」の現場での環境共育

自然農法(不耕起)の田んぼや畑は小さな生態系

不耕起によって保たれる環境(畑や田んぼ)は、その地域の風土にあった生態系を実現し、「食」を求めるわれわれに持続可能な生態系への関わり方を教えてくれる。

年間を通して関わる自然農の畑や田んぼは、森林体験学習とは一味違った、環境共育実践の場となる。



子どもたちへの環境共育現場をめざす
自然農の畑の実践

2009年 秋から冬へ
動植物の生き生きとした小さな畑で
むらさき芋の収穫を
新たに植えたエンドウも元気に芽をだしてきた



川口由一さん(妙なる畑の会)に学ぶ 奈良県桜井市



肥料や農薬などを一切使わず
虫も敵としない そんな川口さんの
畑や田んぼは、すでに30年以上の
時を経て持続可能な生態系を形成
している。

季節を問わず、自然農法を学ぶた
めに多くの人がこの地を訪れている

